

TRIZ推進活動の成果と新展開 および適用事例

— いままでの活動結果からみえてきたこと —

’03年 09月 12日

富士ゼロックス株式会社
DPSC 研究開発センター
粕谷 茂
坂巻 克己

THE DOCUMENT CUBINVT
FUJI XEROX



目次



< 推進活動の概要と分析 >

1. 推進活動経緯
2. ’03年度 推進活動の体系的取り組み
3. TRIZ適用業務プロセスの割合
4. TRIZ適用分野の割合
5. TRIZ適用時の活用手法の割合
6. 適用事例と成果に直結した活用手法のトレンド
7. 適用事例と成果のトレンド
8. 推進活動のまとめ

< 適用事例 >

1. 技術開発事例：ペーパーハンドリングへの適用事例1
2. 技術開発事例：ペーパーハンドリングへの適用事例2
3. マネジメント事例：TRIZの新しい手法を適用した事例

1. 推進活動経緯

	試用・認知ステップ		体験・インフラ整備ステップ		展開・事例蓄積ステップ		
	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年
全社活動	全社のTRIZ研究会を設立し16名で自主的勉強会を開始		TRIZ研究会を再結成し事例を中心に研究会で発表・アドバイスをを行う体系的取組		TRIZ・創造手法研究会とし幅を拡大		
個別活動	英語版ソフトを米国IM社から購入し試用開始		数部門で個別に啓蒙活動を展開		テーマ毎に分科会を開催		
教育	ベーシックコース及びアドバンスドコースを3名が受講		ベーシックコース約60名及びアドバンスドコースを5名が受講		USITセミナー7名 USIT 3日間コースを1名が受講		
インフラ整備	TRIZソフト 7本購入 各事業所に配置		TRIZソフト 5本購入		ネットワーク対応		
			知識創造研究会に1名参加		知識創造研究会に2名参加		

2. '03年度 推進活動の体系的取り組み

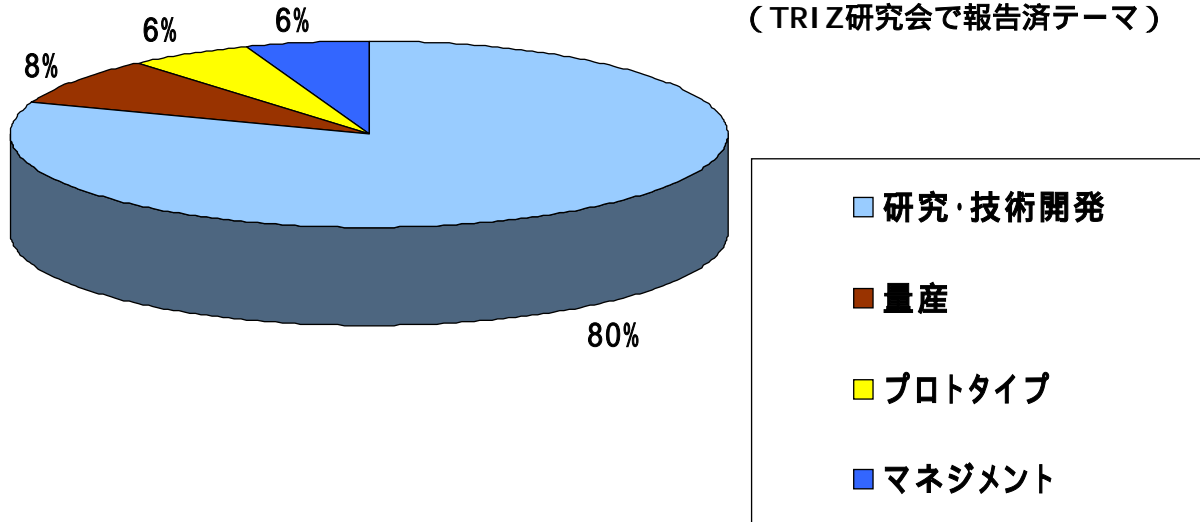
項目	03年/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	04年/1月	2月	3月
▽ 研究会												
▼ 施策												
▽ その他												
TRIZ研究会開催 (対象:FX all)	(4/30) 年度計画検討会	(5/16) 研究会開催 (計画検討)	(6/末) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)	(7/中) (7/末) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)	(9/11;12) (9/中) ユーザーグループ Meeting参加	(10/中) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)	(11/末) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)	(1/中) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)	(2/末) 研究会開催 (事例検討 & 教育・啓蒙)			
研究分科会開催	研究分科会開催(テーマ募集により都度開催)とコンサルティング											
講習会開催		TRIZ講習会 (三菱総研:6月)	USIT講習会 (三菱総研:10月)			TRIZ講習会						
講演会						基調講演会				ミニ講演会		
出版・事例集						Mann教科書 翻訳出版						事例集まとめ
その他 (インフラ整備など)	ネットワークソフト利用者募集・拡大 知識創造研究会への参画(三菱総研)											
アウトプット (特許・C/Dなど)	TRIZを業務への適用・展開											



3. TRIZ適用業務プロセスの割合

- ✓ 研究開発部門が主体となって活用しているため、研究・技術開発のプロセスが必然的に多くなっている

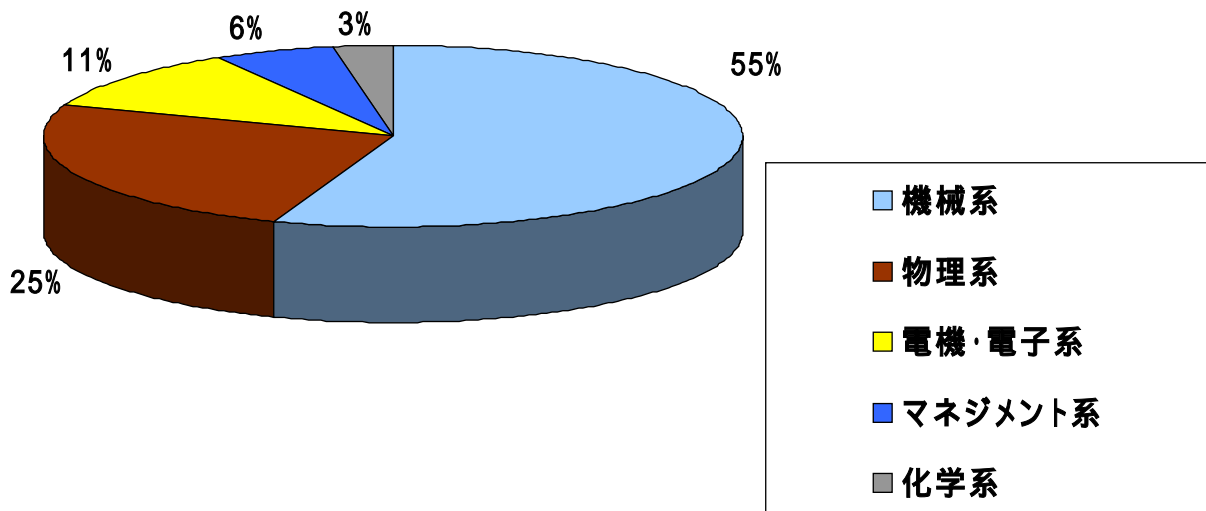
適用事例件数：36テーマ
(TRIZ研究会で報告済テーマ)



4. TRIZ適用分野の割合

- ✓ 当社の業種特性もあるが、機械・物理系テーマが圧倒的である
- ✓ 化学系、ソフトウェア系テーマについては非常に少ない

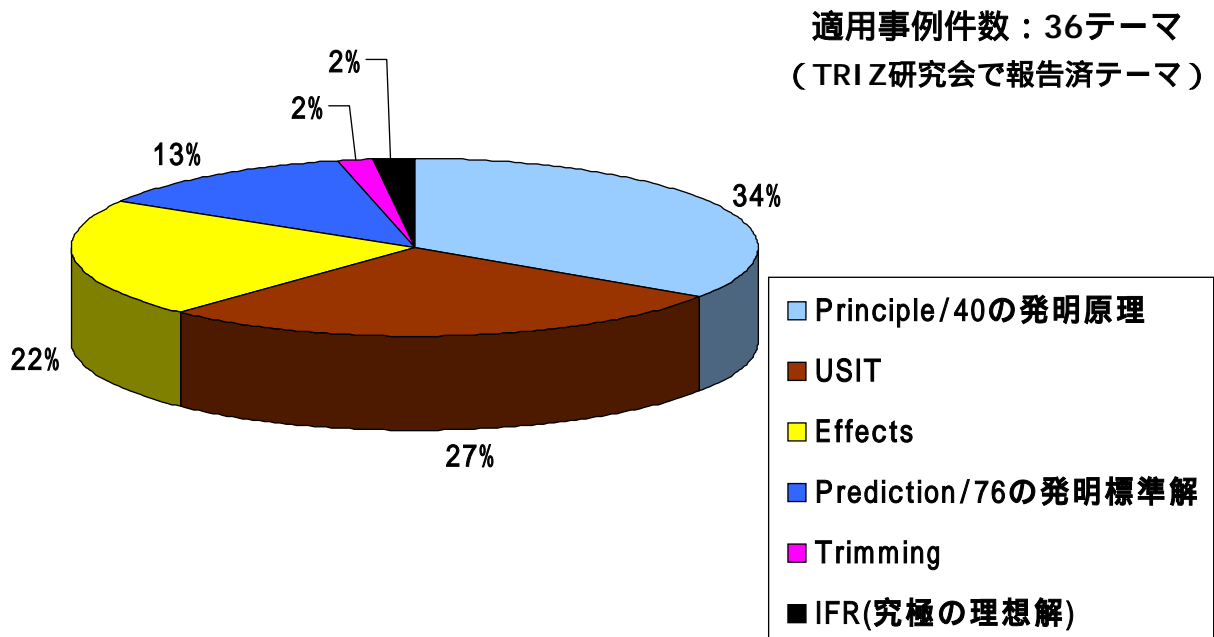
適用事例件数：36テーマ
(TRIZ研究会で報告済テーマ)





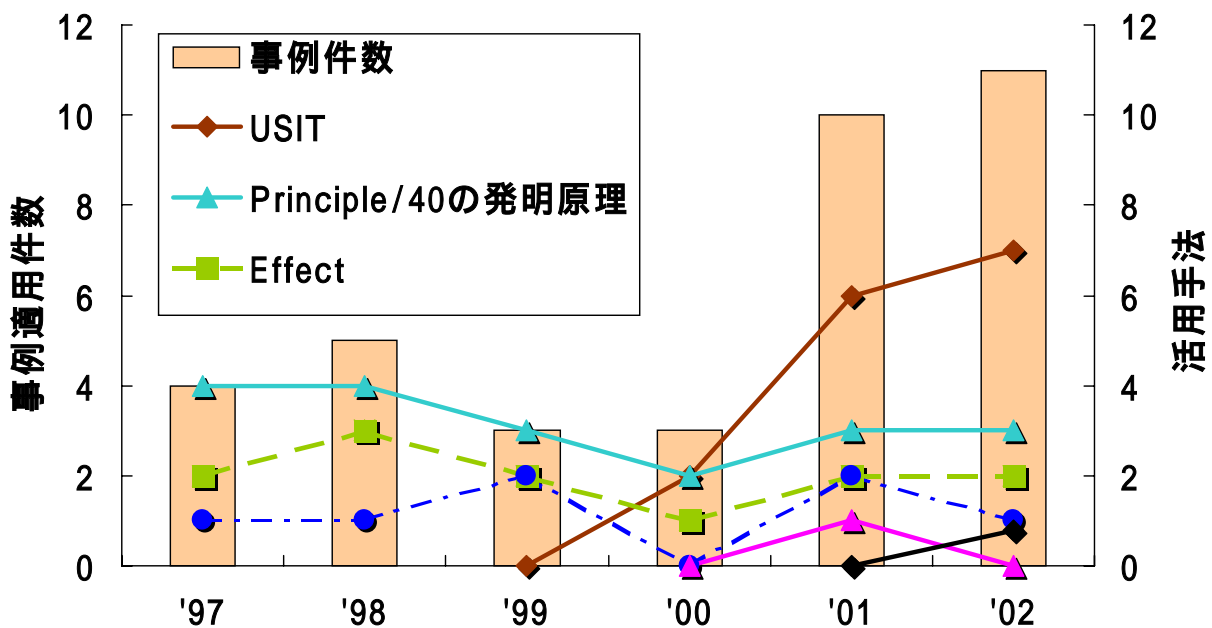
5. TRIZ適用時の活用手法の割合

- ✓ 累計適用事例における主な活用手法は、40の発明原理、USIT、Effects



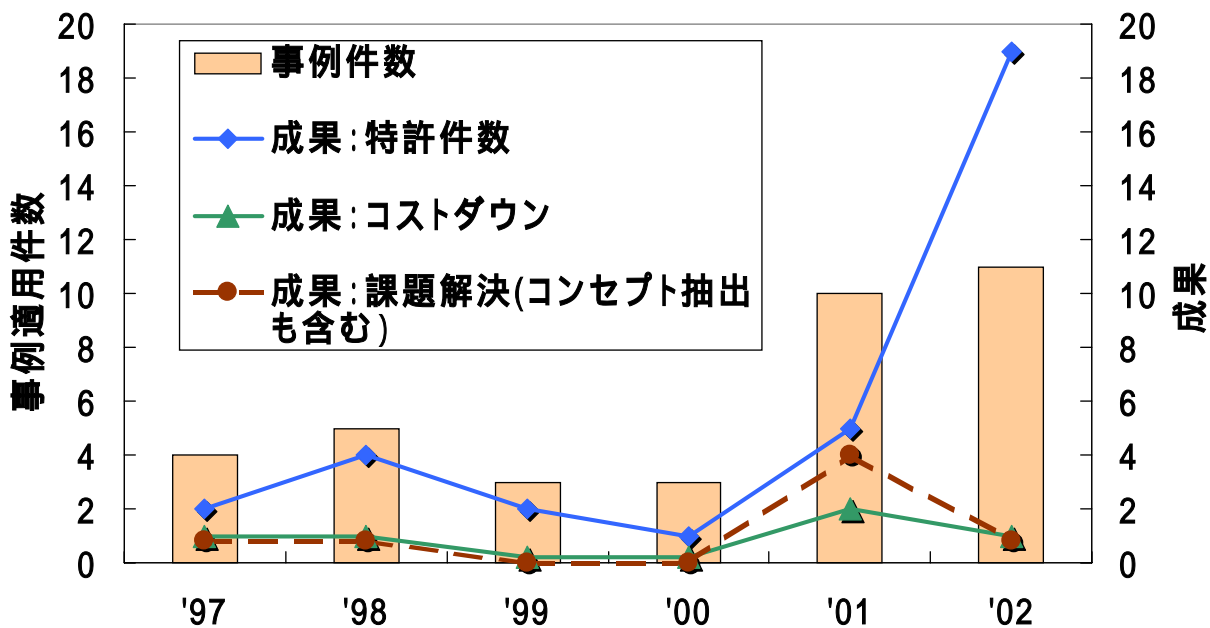
6. 適用事例と成果に直結した活用手法のトレンド

- ✓ TRIZ講習直後は、DBソフト(TOPE)依存の傾向であるが、TRIZの考え方が理解できるとUSIT活用に比重が移るようである



7. 適用事例と成果のトレンド

✓ 分科会によるコンサルティングおよびUSITの活用により成果が向上



Copyright © 2003 kasuya & sakamaki All Rights Reserved

9

8. 推進活動のまとめ

< 推進上の工夫のポイント >

- 主に、**枯れた技術や十分検討し尽くしたテーマ**に対し、TRIZを適用しoutputを創出し説得してきた
- 社内外の適用事例をデータベース化しweb閲覧を可能とした

< トレンド分析から言えること >

- 今後、**化学系、ソフトウェア系**テーマの適用事例サンプルを創出する必要がある
- 組織的に成果を出すためには、**コンサルティングおよびUSITの活用が有効**である
- TRIZの即効性のある効果や認知度を拡大するには、使用頻度が高くわかりやすいツール(40の発明原理、Effects、76の発明標準解など)で構成された安価な日本語版入門ソフトウェアや事例の豊富なテキストが望まれる

Copyright © 2003 kasuya & sakamaki All Rights Reserved

10